

38 山田町特産品販売協同組合【岩手県】

地場産品等の共同販売・購入サイトの構築・運営で、いち早い被害者支援

概要

岩手県の山田町特産品販売協同組合は、震災では県内外の産直施設と連携し、地域の復興および経済活性化のみならず、切実な地域需要に真っ先に対応。震災以降、ホームページを通じて町や地場産品に関する情報を入手しようとする閲覧者が多くなったことから、地場産品等の共同販売や販路拡大に取り組み、購入サイトを構築・運営。普及活用の促進を図っている。
出典：中小企業庁「がんばる中小企業・小規模事業者300選 2014年版」

山田町特産品販売共同組合 www.yamada-michinoeki.jp
〒028-1371 岩手県下閉伊郡山田町船越6-141 Tel.0193-89-7025/Fax.0193-89-7026

39 (株)いわきテレワークセンター【福島県】

IT活用による多様な就業形態を実現する日本初の民間テレワークセンター

概要

「ふるさとをいきいきと働き暮らせる街にしたい」という思いから、平成6年に民間型としては日本初のテレワークセンターを設立。地元的女性を主力に、セキュリティ性の高いエントリーシステムを活用し、首都圏の企業等からのBPOビジネス等を受託。コールセンターなどオフィス勤務業務と、在宅ワーカーを活用したアウトソーシング業務を行う。また地域ポータルECサイトのふるさと物産「ふるさとマルシェ」を開設し、生産者のインターネット利活用促進を支援し、業務を拡大。
出典：METI中部経済産業局「地域活性化のためのIT利活用先進事例集」

株式会社いわきテレワークセンター
〒970-8026 福島県いわき市平字小太郎町3-9 Tel.0246-35-1635/Fax.0246-35-1645

40 つくば市【茨城県】

ネット学習システム「つくばオンラインスタディ」等を活用した学校ICT教育推進プログラム

概要

つくば市は、先進的ICT教育の充実で「教育日本一」を目指し、家庭・生徒、学校、教育機関間の「つくばオンラインスタディ」、「4C学習」の推進などをおこなっている。「4C学習」は、ICTの「C」に4つの意味（協働力Community、言語力Communication、思考・判断力Cognition、知識・理解力Comprehension）を持たせたもの。教育コンテンツは、現・教育委員長が教員時代に自ら作り、教育ICTを積極的に推進した。出典：METI中部経済産業局「地域活性化のためのIT利活用先進事例集」

つくば市
〒305-8555 茨城県つくば市荊間2530番地2（研究学園D32 街区2 画地） Tel.029-883-1111

41 (株)学書【愛知県】

安心安全で高品質な保育施設を運営し、雇用環境にも配慮

概要

IT等を活用して、安心安全で質の高い保育施設を運営。WEBカメラ導入に加え、子どもの入室管理を行うためICタグの設置等ITを積極的に活用。運営状況のチェックとマニュアル化で、質の高い保育サービスと雇用環境を維持し、働く女性を応援している。また、培ったノウハウを活かして、企業内保育施設運営や商店街での子育て支援サービスなど、設置者のニーズに応じた保育サービスを提供している。出典：中小企業庁「がんばる中小企業・小規模事業者300選 2014年版」

株式会社チャイルドハート <http://www.child-heart.com/>
〒651-2114 兵庫県神戸市西区今寺3-22 Tel.078-783-2800/Fax.078-975-1641

42 (株)シュアール【神奈川県】

ITを駆使した遠隔手話通話で、視覚障がい者を支援

概要

IT技術を駆使し、聴覚障がい者へ情報とエンターテインメントを提供。遠隔手話通話や映像を使用した各種情報提供を中心に、今まで聴覚障がい者に提供されていなかったサービス（オンライン手話辞典、手話による観光案内アプリ等）を事業化している。遠隔手話通話事業という今までなかったビジネスモデルで、商業施設やホテルなどを顧客として事業展開。
出典：中小企業庁「がんばる中小企業・小規模事業者300選 2014年版」

株式会社シュアール <http://shur.jp/>
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤4489-105 Tel.044-589-4448/Fax.044-589-4449